

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 1 回 武蔵村山市観光協会設立検討委員会
開 催 日 時	平成 3 0 年 7 月 2 3 日 (月) 午後 7 時 0 0 分 ~ 午後 8 時 3 5 分
開 催 場 所	中部地区会館 4 0 3 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：藤野市長、永江委員長、内野副委員長、國井委員、堀田委員、吉富委員、小林委員、沼崎委員、谷治委員、本田委員 欠席者：なし 事務局：協働推進部長、観光課長、観光課係長、同課主任
報 告 事 項	1 武蔵村山市観光協会設立検討委員会設置要綱について 2 庁内検討委員会報告書について
議 題	1 委員長及び副委員長の選出について 2 設立に向けた課題等の整理について 3 その他
結 論 (決 定 した 方 針、残 され た 問 題 点、保 留 事 項 等 を 記 載 す る。)	報告事項 1 武蔵村山市観光協会設立検討委員会設置要綱について 会議次第に基づき事務局から報告した。 報告事項 2 庁内検討委員会報告書について 会議次第に基づき事務局から報告した。 議題 1 委員長及び副委員長の選出について 委員長に永江委員、副委員長に内野委員を選出した。 議題 2 設立に向けた課題等の整理について ・ 委員会進行計画 (案) に基づき、観光協会についての事務局 (案) を示す形を基本として検討を進めていく。 ・ 観光協会の収益につながる「ロケーションサービス」といった取組についても検討する。 議題 3 その他 今回の開催日程については、平成 3 0 年 8 月 2 7 日 (月) 午後 7 時から中部地区会館 4 0 3 集会室で開催することとした。
審 議 経 過 (主 な 意 見 等 を 原 則 と し て 発 言 順 に 記 載 し、同 一 内 容 は 一 つ に ま と め る。) (発 言 者) ○ 印 = 委 員 ● 印 = 事 務 局	< 委嘱書の交付及び挨拶が藤野市長より行われた。 > 報告事項 1 武蔵村山市観光協会設立検討委員会設置要綱について 【説明要旨】 会議次第に基づき事務局から一括して報告した。 【質疑・意見等】 なし 報告事項 2 庁内検討委員会報告書について 【説明要旨】 会議次第に基づき事務局から一括して報告した。 なお、報告書の詳細は、議題 2 で説明することを補足した。 【質疑・意見等】 なし

議題1 委員長及び副委員長の選出について

【説明要旨】

武蔵村山市観光協会設立検討委員会設置要綱第4条の規定に基づき、委員長及び副委員長を委員の互選により選出する。

【質疑・意見等】

- 皆様からのご意見を願います。
＜意見なし＞
- 皆様からのご提案がございませんので、事務局にご一任いただいてもよろしいか。
＜異議なし＞
- 事務局の案として、委員長に永江委員、副委員長に内野委員を選任させていただきたい。よろしければ、拍手をもってご承認をいただきたい。
＜拍手をもって承認＞
- それでは、委員長に永江委員、副委員長へ内野委員を選任する。

議題2 設立に向けた課題等の整理について

【説明要旨】

「資料2 武蔵村山市における観光協会の設立について（報告）」に基づき、①観光施策に関する国、東京都の動き、②武蔵村山市の観光施策の現状と課題、観光のあるべき姿、設立によってもたらされる効果等、③他市の状況、④庁内における検討結果（事業内容、設置場所、設置形態、運営経費、設立時期）について、観光課長より説明した。

【質疑・意見等】

- 観光の振興は重要だと感じているが、これまで観光協会設立の気運が起らなかったのか。
- 行政では、これまで観光を産業振興と一体で行ってきたが、単発のイベント支援という面が強かった。そこで、産業観光課として組織の中に観光を体系的に位置付け、昨年度から観光を専従的に実施する観光課として独立し、観光の振興に取り組んでいる状況である。
- 委員会では、観光協会の方向性を議論するか、それとも詳細について議論するか。
- 資料4の計画（案）に基づき、委員会での検討を進めていく予定である。
- 観光目的で市にやってくる人はカウントができるのか。
- 基本的に主催者の発表人数と推計した人数を合わせて出す。有名観光地では、色々な要素を取り入れ、合理的な人数を観光目的でやってきた人数として出している。
- また、観光客の受け入れに対する投資については、「経済波及効果」という言葉も最近は良く使われる。税金の面でも効果が見込め、東京2020大会に向けても広がりを見せている。
- 今後は、観光協会についての事務局（案）を示してもらい、承認していく形を取るのか。
- 今回は、これまでの庁内における検討の中で出てきた課題等の整理や現段階での意見を出していただきたい。
- 今後、計画したスケジュールのとおり観光協会についての事務局（案）を示すので、そこでご意見をいただきたい。
- 昭島観光まちづくり協会の決算は報告書5頁の予算を上回っており、平成2

	<p>9年度決算では、公益会計が約3,100万円となっている。これは、収益事業であるロケーションサービスを実施した結果であり、収益による財源的な自立ができる観光協会を目指すことが望ましいと考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ロケーションサービス」とはどのようなものか。 ○ 撮影の支援であり、無償で行う「フィルムコミッション」とは異なり、ロケ隊の撮影の仲介や立会いを有償で行うものである。そこから市内でロケ弁を購入し、お金を落としてもらえることにもなり、公共施設使用料といった収入の増も見込める。 ● 撮影支援の取組について、他市と競合することは無いか。 ○ 「フィルムコミッション」の場合、撮影が煩雑なときは断ることもあるが、「ロケーションサービス」は有償で確実に撮影を実施することろまで持っていく。製作側にとっても、ビジネスとして撮影支援を実施していただく方がありがたい。 ○ 撮影は、勤務時間外まで及ぶことがあるのでは。 ○ その点は民間との連携を図る中で対応を図っている。観光協会は、市民エキストラの募集といった取組や、調整業務を実施するといった形を取ることが想定される。また、撮影をした作品にはクレジット必ず入れてもらうことや、撮影に使用した場所を製作者などと一緒に巡るロケツーリズムという手法も、来街を促す有効な手段となる。 ○ 経験に基づく貴重なご意見を今後もいただきたい。 <p>議題3 今後の検討スケジュールについて 次回の開催日程については、平成30年8月27日(月)午後7時から中部地区会館403集会室で開催することとした。</p>
--	--

庶務担当課	協働推進部 観光課 (内線: 225)
-------	---------------------